

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第7区分  
 【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2009-203042(P2009-203042A)  
 【公開日】平成21年9月10日(2009.9.10)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-036  
 【出願番号】特願2008-48670(P2008-48670)  
 【国際特許分類】

B 6 5 H 29/70 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 29/70

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月15日(2011.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

搬送された記録媒体に対してインクを吐出して記録する記録ヘッドと、  
 前記記録ヘッドの記録領域へ記録媒体を狭持して搬送する搬送ローラ対と、  
 前記搬送ローラ対により搬送される記録媒体に面して、搬送方向と交差する方向に連続し、記録媒体に凸凹形状を付与する複数の押え部材と、  
 複数の前記押え部材より搬送方向上流側に、搬送方向と交差する方向に沿って離間して配され、記録媒体に、搬送方向に沿って掻き跡をつける複数の掻き跡付与部材と、  
 を有することを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記搬送ローラ対は、  
 回転駆動されることにより記録媒体を搬送する駆動側ローラ部と、当該駆動側ローラ部より小径の凹部とが、搬送方向と交差する方向にかけて交互に配された搬送駆動ローラと、  
 前記駆動側ローラ部との間で記録媒体を挟んで従動して回転する従動側ローラ部が、搬送方向と交差する方向に間隔を空けて配された搬送従動ローラと、  
 を備え、  
 前記押え部材は、前記搬送従動ローラに前記従動側ローラ部と交互に配され、前記従動側ローラ部より大径の押えローラであることを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記掻き跡付与部材は、記録媒体のインクを吐出される面の裏面に、搬送方向に沿って前記掻き跡をつけることを特徴とする請求項1又は2に記載の記録装置。

【請求項4】

前記掻き跡付与部材は、記録媒体に、搬送方向に沿って破線状の前記掻き跡をつけることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の記録装置。

【請求項5】

搬送された記録媒体に対してインクを吐出して記録する記録ステップと、  
 インク吐出領域へ記録媒体を搬送する搬送ステップと、

前記インク吐出領域へ搬送される記録媒体に、搬送方向と交差する方向に連続する凸凹形状を付与する凸凹形状付与ステップと、

前記凸凹形状付与ステップの実施前に、記録媒体に、搬送方向に沿って延び、搬送方向と交差する方向に並列された複数の掻き跡をつける掻き跡付与ステップと、  
を有することを特徴とする記録方法。